京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜報

國士金玉均氏 (十)

▲李鴻章に致りし書(承前)

閣下一世噂秀相傳言す此中國李中堂陰かに之れが指を爲すと玉均此を聞き心實に之れを疑ひ一言を以て閣下に質し率らんと欲するも毎に便梯の憑み難きを患ひ只自ら今千萬不意に絞て忽又一奇怪言ひ難きの事有り朝鮮より鄕を池還永を名とするもの有り潛かに日本の東京に入り行止顚ぶる疑ふべき有り玉均乃ち同志數子と之れを謀り其の擧動首尾を偵察し一月の間毫に心算を費す竟畢其の所謂委任之狀は乃ち韓睿顯的確の證畫く玉均の手に寄の玉均始て池永運なる者の玉均を謀するの刺客なるを覺る其際書類中に云へる有り中國の李中堂は玉均を拿獲する爲め書を日廷に致す是二たび二は即ち日廷還に據て之を絶つ第三は答ふらく其拿還を聽かすと雖ども韓の刺を行ふ者きに至ては日廷之れを度外に置き決して執貫の擧無と中堂此に據て袁氏に諭し我政府をして力士を委送せしむ政府遂に池永運を擧て而して其任を托す云々、玉均此を見て即ち又疑惑腦に勝り閣下に解する能はざるものあり閣下一國の大臣たり國の安危繫ぐ閣下一擧の得失に關する有り現に又閣下朝鮮に於て顯勤にして勞を知らざる者亦是れ東亞の大勢を以て自任と爲すものなる莫からん耶然らば即ち閣下一世の重望也一世の注目也其佩負する處固より何如也閣下是能く乃を挾で人を殺すの策を以て之れが敵陵を爲さん也玉均自ら料るに是れ必す袁世凱の如き年少無識の徒己れが功を朝鮮の奸類に顯さんと欲し此等兒戲の事を做し出す閣下以て如何と爲す事若し不幸なれば此異に閣下の爲す所に出づ此の擧東亞細亞一面の一大耻辱玉均㗊々を閣下に用ゐるを爲す蓋し閣下既に朝鮮政事を以て自任と爲す即ち宜しく時事に老練し稍々鑑理を識る者を選び以て之れを送り時に忠言を以て之れに曉告すべき也而れ之れを爲さすして而して袁世凱口尙乳臭無知の一武夫を以てし之れに極はすに大事を以てするは遊戯の若きものなり然れども閣下若し朝鮮一國を以て用ゐて一時己を謀るの奇貨と爲さば未だ必す貴國の福たらず也た東亞の福たらざるなり閣下豈是れ有らん哉(未完)

關税問題と獨逸

條約改正の難關は無論關税問題なるが近頃獨逸の言論界に於ては此問題に對して左の意味の論評行はれつゝあり曰く日本が初て歐米各國と條約を締結せし時は未だ未開の境域を脱せざりし時に屬したるが爲め税權法權併せて之れを保有すること能はず所謂る不對等の條約に屈從するの止むを得ざる境遇に陷りたる次第なれども人文の進歩に伴ふて漸く覺醒し爾來專心一意之れが恢復に志しあらゆる辛酸を甞めて終に法權の全部を恢復するに至りたるが今や彼れは更に一歩を進めて税權恢復を疾呼しつゝあれども今日既に世界の一等國となれる日本に對して誰れか能く税權を爭ふものあらんや税權の恢復彼に在ては實に一擧手の勞にだも値ひせず何んぞ之れが恢復を疾呼するの要あらんや然れども關税を定むるに當ては其國定たると協定たるとを問はず先づ彼我の貿易狀態に鑑み我に利にして而かも他の利益を害せざる範圍に於て定むるを得策とし敢て形式の如何に拘泥するの必要なかるべしと曾て我當局者が國定税率を定めたるも之れが實行を期すること能はず隨て税權回復てふことが痛く我朝野の人心を刺激せる傾きあるに對して下したる評論なるが如し

◎新刊紹介

▲富の日本(一卷七號八月一日發行)東京芝區白金三光町四六二同社十三錢
▲成功(八月號)東京本郷弓町一ノ一同社十五錢
▲木浦日本人商業會議所月報(七月十六日發行)
▲東京金物新報(一九三號八月一日發行)東京淺草區西鳥越町二同社五錢

地方通信

▲平壤通信

●鐵道工事近狀 平壤鐵道建設事務所管内の各鐵道工事は目下雨期に際し多少の障碍を免れざるも日々三四回の建築列車を運轉し盛んに之れが進捗を計り居れり即ち京義線改良工事は平壤以南に於て土城汗浦間以北に於て東林良策間を目下施行中にして同所線路四十分一の勾配は之を百分一に改築し木橋は之を鐵橋に架替中なるが何れも九月頭竣功すべく又平南線は全線十三四哩の處既に平壤より廿六哩間は建築列車の運轉を見つゝあり全線の運轉を見るは目下取急ぎ建築中の鎭南浦停車場落成後にして是れ將た九月に入る可く又鴨綠江鐵橋架設工事は當今雨期増水のため工事休止中にして來月中旬再び起工の事となるべしとぞ

●金融組合員の養蠶 平壤財務監督局管内なる黄州、成川の金融組合にたける邦人組合員の婦人連は産業奬勵の一助として本年日本蠶種又昔及び韓國在來種にて春蠶を飼育せしところ成績良好にして日本種は一升につき十一匁在來種は同上六匁平均の收繭を見たるに

ぶ各金融組合員も漸次養蠶の事に勵み來れるよし

●製絲講習の好成績 道主催製絲講習會は七月二十九日を以て終了式を擧行したるが同講習は前回の例に鑑み比較的年少にして相當普通學の素養ある婦人を收容したるを以て成績頗る良好則ち平均九十點以上のもの李前主以下七名あり彼等は何れも在來全く製絲業に從事したる事なきものなるも卒業後は自家に於て該業を經營せんとするもの多く間々製絲傳習所教師たらんとするものありと云ふ

●平壤夏期講習會 目下西門通普通學校にれいて開催中なる學部主催平壤夏期講習會は聽講者公私立普通學校韓人教職員等九十七名に上り日々通譯附にて參考書により受講中なるが出講者は教授法九十七名唱歌七十五名體操五十四名及び科外農科八十二名にして來る十三日を以て閉會を告ぐる都合なりと云へり

●手形組合所近況 平壤手形組合所に於ける七月二十一日より同三十日に至る手形保證高は二萬五千五百八十五圓同支拂高は二萬九千二百八十圓差引本旬の支拂高は同保證高より三千六百九十五圓の増加にして未保證現在高に就ては前旬は十七萬二千三百三十圓本旬は十六萬八千六百三十五圓八十錢なりと

講談 大岡政談 越後傳吉 第四十一回

旭堂南陵講

與「それちやア改めてれ前さんに百兩の金を貸します、これやア上げるんぢやアございません貸すんです 傳「ハイ 與「これから家へれ歸り、親類をいひますから爾して歸るとれ前さんの女房や伯母さんが何うだ斯うだと囁きませう、事によつたら失なつた金は庄藏さんに賴むが宜い彼の人は探偵だから、泥棒を取押へて貰ふやうにしたらぐらゐなことをいふかも知れませんせ 傳「そりやアモウ私が來る時にいひやした、庄藏樣に賴んで調べて貰ふといひやした 與「そのくらゐのことをいひやせう、さうするとれ前さんが斯ういひなさい、マア騷いで下さいますな、實はれ話しをいたしますが取られたものは金でがすからなか〳〵出る氣遣ひはございません、三百兩儲けました外にまだ百兩だけ金があります是は内證金として私が肌へ卷いて置きましたから取られたものは仕方がありませんから、伯母さん、名主樣の方に借金があるんだといふからその借金を拂つちまつて、殘りの金は三十兩でも五十兩でもれ前さんの方へ預けて置きます二十兩の金を路銀にしてもう一度江戸へ行つて、吉原の三浦屋さんへ行きやア手を受けて待つてくれますから一週金を拾つた土地忘れることは出來ません、私はもう一度儲けに行つて來ます、今度は、二三年で三四百兩の金を持つて來ますから、伯母さん御安心下さいと斯うれ前さんがいふんだするとれ前の伯母さんは悦ぶもん〳〵、與個に飛立つて悦びやせう、又三年も四年も稼ぎに行くんだ、思ふ男と散々戯るにはれ前さんが邪魔になる、それぢやア傳吉さうしてれくれと斯う來るに極つてゐる 傳「ハイ 與「さう來たところでれ前さんが私が十兩別に散財りますから一ツいふやうにして下さい、私も折角儲けて來ました金を皆取られてしまひ、故鄕へ戻つたと思ふたら又江戸へ行かんならぬから、今度は一ツ私も延喜直しに村中の人を殘らず集めて大振舞をして江戸へ立ちたうございます、何か明後日は大振舞をして頂きませうと、斯うれ前さんがいふとろいつも悦んで承知するに違へねへ、そこで村中へヅッと振れて廻るんだね、傳吉が江戸で金儲けをして戻つて來たに就て大振舞をすると云やア、れ前さん方の村方殘らず來るだらう 傳「そりやアモウ殘らず來やすだ 與「その當日にさうして置いたね、れ前さんの相談對手になるやうな親切に相手になつて吳れる人はあるかい 傳「村に澤山に御座います百姓代の甚右衛門に三右衛門樣がエラ私をば思うてくれやす 與「マ、結構、その人の方へ行つて此所では隱しちやア不可ねんだ、中村屋與兵衛がいふたことを皆話しをしなさいするとその二人が聽いてれ前さんが庄藏と氣が注くらゐだから、その二人も庄藏と氣がつくね、太い野郞だといふだらう、その二人を味方に引張り込んどいて、乃公が大振舞の當日にこのれせんを伴れて甚右衛門さんといふ人の家へ行から前の日から行つてませう 傳「ハイ 與「其の家へ泊つて〳〵昨日の振舞、村中の者が揃つてるところへ傳吉どん、乃公が乘込んで行くのだ、どうせ庄藏も來てるだらう 傳「そりやアもう坐るに違ひございません 與「其所で乃公が庄藏を捕へて此奴だ、傳吉どんの從兄弟の彌藤次と名前を僞はつて金二百兩騙つた野郞は此奴だと乃公が星を指す譯は斯々斯ういふ工合だが、何うです、與「分りましたか 傳「有難うございます 與「今云つた通り遺損ひがないやう、宜うがすかい」流石は閻魔といはれた中村屋が嚙んで含めるやうに傳吉に吩咐けました 與「サア小旦那、分りましたらこの百兩の金を持たして上げますから歸りなさい オイれせん 仙「何だね伯父さん 與「汝に二三十兩金があるだらう出してくれ、乃公ア七八十兩しか金がねえから 仙「伯父さん、そんなに金持つてやアしないよ 與「嘘言を吐けチョイ〳〵と貰ひ溜の金やとか伯父が閻魔の伯父さんがチャンと知つてるわ貯つてる時分だ、サア出してくれ 仙「二三十兩遣つたれ錢や何だ彼だでもう二三十兩よく分つたね 與「そんなことが分らねで何うなるものか、他人の顏色を見て其人の腹の中を見拔かうといふ乃公だ自分の現在娘のやうな姪のれ前の有金ぐらゐチャンと知つてらア 仙「オヽ怖、閻魔とよういはれたこどね、れせん笑ひながら三十兩の金を出して來たるから丁度百兩だ 與「よし〳〵、乃公が此所に七十兩あ



東京電報

▲兩陛下御軫念

有珠山爆發し附近數十箇所に多大の損害ありたるに就ては平田内相より侍從を經て畏き邊に奏上したるに 皇上皇后兩陛下には深く御軫念あらせられ罹災民に對し救恤金下賜の御沙汰あり尚は今後被害の程度如何によりては侍從御差遣の御沙汰あるべしと承はる(六日)

▲清國公使着任

新任駐日清國公使王大燮氏は夫人同伴四日下關到着夫人及隨員數名は同地より上陸鐵路東上公使は海路神戸に直行同地より入京せり(同上)

▲滿鐵社債借替

明年三月償還期に相當する南滿鐵道社債三千萬圓は倫敦市場に於て借替發行を爲す事に決定したるを以て日本勸業銀行は大藏省の命を受け九月中旬より同市場にて借替募集に着手する計畫なり(同上)

▲總督留任問題

佐久間臺灣總督は幾に特に一ケ年現役期間を延長して留任する事となり右終了と同時に後備たるべきも再び延期するには特別法規の規定を要するに付目下研究中なり(同上)

▲條約廢棄通告

我政府は四日附を以て各締約國政府に對し日佛通商航海條約日佛通貨及附屬稅目日墺通商航海條約廢棄の旨通告せり(同上)

▲載海軍視察使

清國より派遣する歐米海軍視察使載洵貝勒は二十四日上海出發橫濱を經て先づ米國に赴き同國の海軍を視察する豫定なり(同上)

▲韓太子の歸京

韓皇太子には本日午前九時無事御歸京あらせられたり(同上)

▲稻作の害虫發生

本年は各地とも稻作に害蟲(螟蟲)の發生甚だしきを以て農商務省は各地方長官に驅除勵行法の通牒を發したり(同上)

▲兵學校の入學者

海軍兵學校本年度入學志願者二千九百五十一名にして身体檢査合格者千三百八十名試驗は本月三日終了中百二十名を選拔入學せしむ(同上)

雜報

德壽宮の御陪食

太皇帝には七日正午十二時より寺内統監山縣副統監有吉總務長官石井、外波、兩武官國分兒玉の秘書官を招き御陪食を賜はり宮内大臣閔丙奭、同次官小宮三保松承寧府總官趙民熙の諸氏も御陪食を仰付られたり

統監の記者招待

寺内統監は五日午後三時半在京各新聞通信雜誌記者三十餘名を官邸に招待し茶話會を開かれたり統監の挨拶に對し記者中の年長者なる國民新聞の特派員熊谷氏答辭を述べ歡談に時を移し午後五時散會したり尚主人側の出席者は統監の外山縣副統監、有吉長官、明石警務總監部長、小松參與官、兒玉秘書官津野、藤田兩副官等なりし

虎疫襲來の兆あり

目下盤谷、孟買、バタビア、スマラン、スラバヤ地方及南清汕頭、香港等印度洋沿岸には虎列拉病流行して其勢頗る猖獗を極め既に初發以來數千人を算せられ而かも一たび之に罹かれば殆んど死亡の不幸を見慘狀名狀すべからざるもの昨秋韓國に發生せるものを顧みるに其系統淸國より輸入し夫より各地に傳播せるものたるや爭ふべからざるの事實なれば此際右印度洋方面の病毒侵入に就きては充分なる注意を拂ひ豫防の途を講ぜずんば其結果恐るべきものあるべし現に該病毒は始め印度洋方面に起り漸次東進の恐あれば特に注意を要すと云ふ

●在外韓人の新聞紙

在外韓人の經營せる新聞紙は其數三社ありて孰れも文明の機關と言はんよりは寧ろ危險思想の鼓吹を以て任じ字々句々煽動的敎唆的なるは何人も知る處なり今其紙名を揭げんに布哇に於て發行せるものは新韓國報と稱し隆熙元年十月二十二日創刊に係かり署名人を朴相夏といふ而して其經營者は未詳なるが無論出稼勞働者多少文字ある徒に過ぎざるべし桑港には新韓民報なるものあり該紙の前身は光武九年十一月十二日創刊せる共立新報にして隆熙三年二月一日現名に改題せり發行人は崔正益と稱し主筆を李恒愚といひ社長自ら之を兼ぬ又浦港に於て發行せるものを大東共報と稱し隆熙二年十一月十八日の創刊にして發行兼編輯人をニコライエカイと云ふ渠は韓國人にして其名を兪沈律といひ日露戰役前露國に歸化したるものなり其主筆崔才亭と稱し有名なる崔昌俊の弟にして曾て都憲の職に在り故に敬稱して崔都憲と唱へらる社長は例の純露國人ミハイロフにして其性格の險惡邪獰なるより同胞の指斥を受け今は却つて未歸化の韓國人と稱せらるゝ實に無邪氣極まる露國人中には珍らしき程劣等の性格を備へ居れり而して以上新聞紙の依りて起れる所以のものは毫も愛國濟民の爲めに非ずして徒らに悶々たる不平に驅られ遠く海外に放浪せるも天は無爲遊惰の民に衣食を給せざるより益々自暴自棄となり斯く奇怪の主義を懐抱するに到れるものなり尚ほ三紙の分布範圍を見るに我發行地を中心として大東共報は西比利亞一帶及清國上海地方に及び其他兩紙は各發行地に割據し發行部數は五百乃至八百位に過ぎず而して讀者は多く勞働者にして強いて責付くるものなれば案より料金の如き滿足に蒐集する能はず故に社の維持經營は義金と稱して強制的の寄附を募り以て僅かに存立し居るものなりと云ふ

●警察署長衛生訓示

仁川署長宮館警視は一昨五日市内の各衛生組長及副組長面長洞長等を本署に召集して示達する處ありしが其要旨とする處を聞くに先づ本年に於ける仁川の衛生狀態一斑より豫防設備に說き及ぼし更らに之れが豫防をして最も功果を多からしめんとするには傳染病患者の發生を一刻も早く知悉すると共に相當の手當を加へざるべからず然るに患家に近接せる人々の迷惑を慮りて患者の發生を稍やともすれば秘密に附せんとするの傾向あるは公衆衛生上より見るも遺憾とする處なれば向後各衛生組合各區に一個宛の投書函を設置し警官巡回の際之を開函せしめ以て傳染病患者發生の密告及び其他衛生上に關する注意事項を投書せしむる事並びに衛生上の心得を汎く知悉せしめんが爲め各區に數名宛の衛生委員を設け尚は衛生に關する經費を償はんが爲め毎月一戸より五錢乃至十錢宛を各組合に於て徵收する事を一般に圖り可決の上直に實行する事になりたりと云ふ

●官公私立學校の數

七月一日現在學部に於て調査せる各種官公私立學校數二千二百三十七校にしてこれを各道官公私立學校別に記せば左の如し

道府名	官公立	準公立	私立學校	計
漢城府	一八	一	九四	一一三
京畿	七	一二	一八三	二〇二
忠北	二	四	四七	五三
忠南	四	三	八六	九三
全北	六	二	七五	八三
全南	七	七	四〇	五四
慶北	五	四	一四一	一五〇
慶南	九	四	九八	一一一
黃海	二	七	二五一	二六〇
平南	五	六	四一七	四二八
平北	五	五	三六七	三七七
江原	四	五	三七	四六
咸南	五	九	一八九	二〇三
咸北	三	四	五七	六四
合計	八二	七三	二、〇八二	二、二三七

因に以上は官公私立學校とも學部大臣の認可を受けたるものにして尚ほ認可を申請せざる私立學校は各道を通じて以上揭載の外三四割存するを以て學部に於ては鋭意之れが出願を慫慂し居れり

セウルプレス停止

當地發行の英字新聞「セウルプレス」は[illegible]せらる

●京義改良工事模樣

京義線改良工事近況を聞くに其重なるものは隧道二ケ所の内その一は此程工事[illegible]捗し他の一部は漸く切割を了り

ヘンチング堀鑿器を以て約二尺堀鑿同樣重なる工區たる東林良策間に於ける[illegible]鑿器を使用して既に百五十尺の堀鑿を了したるが其他の小工事に於ては土城

鷄井間の土工は約四分通竣工嶺城汗浦間土工は凡一分通水色一山間橋梁架設校工嶺美古邑間改良工事は今一應現場の觀察を了したる上請負入札に附せら

る筈なるが要するに京義線全体の工程に就ては目下二分通りの竣工なりと

[illegible]

龍山印刷局に於て韓銀兌換券製造に就て比較に荒井次官[illegible]上中既に統監の承認する處となり是に對する萬端の準備も既に整頓し居れるも其間意外の故障の運引は免れさるも本年内には豫定額一百萬圓(但し一圓券一種)を製造し來年度は一圓、五圓、十圓等各種取交せ八百萬圓を製造すべき筈なり尚は印刷局[illegible]畢に印刷に止むべき由なり

●仁川の永瀧氏歡迎

永瀧間島總領事は昨六日下仁せしが氏の舊知の人々は万石洞八景園に於て昨[illegible]

●明石少將の納涼會

明石少將は去る二日納涼會として其官邸に朴内相、趙農相、金中樞院議長、李址鎔、李夏榮及趙民熙の諸氏を招待し四日は閔宮相、高度相、李學相、趙義淵、張錫周、兪吉濬及尹德榮の諸氏を招待して盛宴を張りたるが尚近日第三回の納涼會を催す筈なりと

●教會の學生招待會

夏期休學の爲めに渡韓せる學生を招待し講話を聞かしめ又慰樂の時を得せしめん爲めに大和町一丁目京城基督敎青年會は本月中旬同會に於て學生招待會を催し名士の講話茶菓の饗應其他の餘興ある筈なるが右會合に出席希望の學生は住所姓名等を至急同會に通知す可し

警備機關統一の根本法

從來の警備機關が統一せられ憲兵隊と警察署に於て共に其の事務を執行することは既に屢々報導したるも未だ具体的成案として發布せられたるものなかりしも統監府令第四十一號は寺内統監の名に於て統一に關する根本法を左の如く公表したり

警察署を置かざる地に於ける警察署の事務は憲兵分隊又は憲兵分遣所に於て之を取扱ふ

附則

本令は發布の日より之を執行す

七月三十日 統監子爵 寺内正毅

以上の如く警察署の警察事務は該法規に依りて憲兵隊にも取扱ふことになりたるものにて即ち從來の制度は憲兵隊と警察署にて警察事務を個々に取扱ひたれども今後は双方共に相呼應して同一の事務を取扱ふものにて茲に於て乎全然統一の實を擧げたるものなりと云ふ因に記す之れに關する管區は一兩日の内に發表の筈なり

●統監の司令官招宴

寺内統監は七日左記司令官以下を統監官邸に招待する由

八代練習艦隊司令官、田中淺間艦長山路笠置艦長、山本參謀、野口大尉今村參謀、長谷川大尉、古池機關大尉、二村中主計、外山少主計

●中樞院顧問の新任

伊藤統監在職中中樞院官制を改正し一年以上國務大臣たりしものは中樞院顧問、年俸二千圓に親任せらるゝ事となりたるが近く前度相任善準及び前學相李載崐の兩氏を顧問に任命發表さる

●海軍候補生招待會

統監府は五日仁川入港の練習艦隊淺間笠置の兩軍艦乘込の少尉候補生其他二百餘名を正午より京城ホテルに招待し午餐を供せり

●朝鮮日報其他解停

去る二日發行停止を命せられたる朝鮮日報、皇城新聞及び日韓電報通信は六日解停となりたり

●朝鮮日日紙の停止

六日發行の朝鮮日日新聞は其筋より治安妨害と認められ發行停止を命せらる

●消防隊の演習擧行

警務總監部にては七日消防夫一同を召集して臨時演習を擧行すべしと

●郡主事と會計事務

江原道各郡主事は客月中學務打合會を開き會計事務の練習を爲せり

●仁川韓人開市日

既報の如く仁川韓人市場の開場式は昨六日午前十時より擧行せられしが爾後毎月陰曆二、七の兩日を以て開市せらるべしとなり

●仁川の出入船舶

仁川に於ける五日の入港船は神代高砂丸の二隻にして上陸客は男六五女九名にて出港船なし

●毎電記者の來遊

東京毎日電報記者鵜崎一敵氏は暑中休暇を利用し遊覽の爲め七八日頃入京一週間程滯在の豫定

KOREAN PENINSULA

AS VIEWED BY A FOREIGNER.

外人の視たる半島(四)

一外人記述

▲朝鮮の東郷大將、此偉人の名はリシユンシンと云つた、彼は今より三百年前グレエトタイコーが文錄の役を起したとき朝鮮側の水師提督であつた、彼れの水軍は日本のソレより優つて居た、彼れの軍船は日本のソレに比して數等優つて居た、タイコーの軍は陸では勝つたが水上では破れた、對馬海峽の制海權は李提督の爲に奪はれて仕舞つた。

▲余は朝鮮の東郷に就いて尠からず興味を感じた、ソウシテ日本人たる某君が朝鮮人たる李舜臣を偉人東郷に比して余に紹介せられたる大國民的襟懷に感服した、夫れと同時に今の朝鮮人が何故斯迄デヂエ子レートしたかと云ふ事に就いて疑問を起さゞるを得なかつた、ソーコーする中余の乘船が釜山の棧橋に着いた、無數の朝鮮クウリーが蠢動して居るのを見受けた、是等クウリーは李提督部下將卒の子孫ではあるまいかとも思つた。

▲釜山へ上陸した、大池ホテルと云ふのへ一泊した、ホテルの主人は人の良さソウナ老紳士で余と親密に談話を交換して呉れた、併し此老紳士はドー云ふものか余の問に對して要領を得た返答をしなかつた、聞けば此老紳士は此地日本コロニーの頭目であるソウだが、コレヂは釜山日本人の程度が大抵知れる。

▲行つては見なかつたが此地には小西行長の古跡があるとの事だ、小西と云へば太閤の家來でバテレン宗門に歸依した人だ、彼が法華宗の加藤清正と始終中が惡かつたと云ふのは恐らくは宗旨の違ひから來たのではあるまいか、是れは日本の史家に調べて貰はねば譯らぬ。

▲番頭に送られ京城に向ふべく釜山ステーションに來た、茲で見慣れぬ物置式の新建築を見附けた、聞けば此建築物は近々開かるべき停車場である、日本の鐵道院が歐洲の旅客を驚かす爲に態々拵らへたものだソウだ、鳴呼鐵道院、其計畫は雄大なりだ、他日歐洲からの旅客が茲へ來たなら此建築の壯大に打たれ腰を拔かして連絡船へ乘れぬ事になるであろふ。

▲ブロードゲージ、之丈は日本内地の滊車に比して乘つてイツモ心持の良い事だ、速力も日本内地の最大急行よりは餘程早い、併し困まつた事には埃りの多いのと便所及び洗面室の汚ないのと賃率の高いのとは世界のレコードを破つて居る、ミストル、オーヤはモ少し勉強してもよからふと思ふ。

東拓漁場の善後策

平安北道に於ける東拓會社の本年の漁業は試驗的なりしとは云へ全然失敗に終りたることは明かなる事實にして同漁場に關係したる人の談に依れば會社が漁業に依りて得たる利益金は過般紛擾の際吉原副總裁が出張したる費用をだも充たす能はず一手販賣者たりし伊佐奈商會は五萬圓の供託金を納めながら純益千圓内外を得たるに過ぎず斯の如き結果なるを以て今より明年の漁業に就き充分研究を要すると一方に於て本年の漁業の跡始末をなさゞる可からざるに依り下請負人たる岡十郎氏は既に入京し伊佐奈商會主任原田氏へも召狀を發したれば十日頃迄には入京する筈なれば善後策を協議すると云ふ

●鴨綠江沿岸の産業

鴨綠江沿岸に於ける地形は交通不便にして一眸萬頃を望むの曠野なく隨て沿岸の住民は小邑一浦口を形成して大集團の都市なし故に社會經濟としては何等の統一せられたるものなきに依り彼我の部落間にて物々交換の取引を行ふに過ぎざるも時勢の遷轉は漸次原始的の狀態を離れて取引頻繁の趨勢を醸すに至りしものは偶然ならず彼の水陸交通の利澤を有する安東縣は近來著しく發展して鴨綠江一帶の商權を掌握し經濟上の中心的地位を占領し沿岸一圓の都邑浦口の全部を擧げて其支配圏に屬せしめ且つ八種の優勝商取引の巧拙企業心の強弱關係よりして西岸は益々殷盛發達をなすに反して東岸は荒寥落寞の境に赴かんとす彼の所謂政治的都邑と僅かに殘墻荒壁の間に當年の繁榮を語るの外何等經濟上の施設として見るべきものなし而かも同所は東岸唯一の都邑と稱するに於ては轉た感慨の歎なき能はず沿岸百里に亘る一帶は悉く荒涼不毛の地のみにあらず山間溪谷到る所に火田を拓き耕地を耘り大豆、玉蜀黍等農産物の穰々たるを見るべく其他生牛、牛獸皮、麻布等直接間接に土地の生産力に依るもの遙かに對岸清國側に優るものあり加之近時漸く世人に膾炙せられんとする柞蠶、蜂蜜、山葡萄、楓葉等有望の産業多く生産の要業は決して乏しきと云ふこと能はざるなり然るに其産出せる物資の全部は清國人の掌裡に支配せらるゝ處となりて毫も意に介せざるものゝ如く兩者盛衰の光景歷然として蔽ふべからず大に注意を要すべき問題なりと云ふ

●平壤興業倉庫狀況

平壤韓國興業會社出張所七月末日調査倉庫品狀況を聞くに同月中の入庫品二千二百六十七個此金額九千百四十九圓同出庫品四千四百八個此金額二万三千百八十四圓六十一錢同前月繰越高一萬三千九百九十三個此金額七萬九千八百三七圓十九錢同月末殘高一万一千八百三十七個此金額六万五千五十一圓五十八錢なるが入出庫品の重なるものは白米玄米雜穀亞鉛板等なるが白米の入庫高は八百十三個此金額四千八百七十八圓同玄米百個此金額五百圓同雜穀百四十四個此金額七百二十圓三十錢同亞鉛板千六十三個此金額九百二十圓二十錢同出庫高白米五百五十個此金額三千二百八十九圓六十五錢同玄米千五十個此金額五千二百五十圓同雜穀千六百八十八個此金額七千三百七十圓六十錢同亞鉛板五百四十七個此金額二千二百七十圓七十錢同月末殘高白米二千六百十三個此金額一万五千九百四十三圓四十錢同玄米千百三十個此金額は五千五百十圓同雜穀二千三百四十八個此金額一萬六千四百九十圓六十五錢なり

●仁川の艦隊歡迎會

仁川官民の催に係る目下碇泊中の練習艦隊司令官八代少將以下兩艦長並びに將校三十餘名の歡迎會は昨六日午後七時より日本公園八坂樓に於て開催せしが來會者五十餘名に及び頗る盛會なりき

●永瀧總領事の出發

入京中なりし永瀧間島總領事は七日午前八時三十分南大門發下仁の上同夜釜山に向ひそれより東上の筈なりと

公人私人

▲山田桃作(代議士)五日入京巴城館へ

▲中島鋭二(帝大工科大學教授)平壤より入京京城ホテル投宿

▲中山重雄(辯護士)五日入京藤限へ

全南の漁業狀況

全羅南道沿海に於ける今年四、五、六三箇月間の漁業狀況左の如し

▲鮟鱇網漁業 漁期例年四月上旬に始まり五月中旬に終るを常とす出漁船は長崎縣の六十隻を始め佐賀、福岡、熊本の三縣之れに次ぎ其他鹿兒島、大分、香川の諸縣にして其船數百五、六十隻に及び一隻の漁獲高七百八十圓乃至百五十圓にして近來稀なる大漁なり

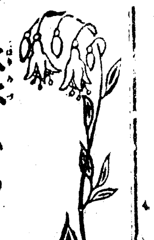
▲鯛延繩漁業 出漁船數五六十隻にして例年より著しく減少せり出漁船の縣別は廣島、福岡、長崎、熊本、香川、愛媛、岡山の各縣にして漁場は群山沖、呉食島及竹島附近に始まり古群島、煙島、孤島外煙島なり一隻の漁獲高平均三百圓なり

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
六日	七九、五九三、四三	三七五

▲治外法權▼

五日の統監邸に於ける新聞、通信、雜誌記者招待會は近頃稀なる有益な會合であつた、主人寺内統監は考慮ある親切な父の態度を以て諄々と清談を試みられた、清談の内容は茲には言はぬが余輩新聞記者にとつて甚だ有益なものであつた▲之を聞く寺内將軍は佛式兵學を修めた人だ而るに獨逸のメッケルが來てから、我陸軍は佛式を捨てゝ全体を獨逸式に換へた、將軍は茲に不愉快な失意の境遇に落ちた▲素より彼とて血のある人間の事だ、斯る場合に於て不平の起らぬ筈はないのだ、併し彼れは固有の強烈なる奉公心を以て其不平を抑へた、否抑へたのみにあらずして忘れた、余輩新聞記者も公事には彼を學ぶべしだ▲ペンは劍よりも有力なりとはエツプ物語中にあることで天下の大記者故福澤翁が唱道された事だ、福澤のペンの有力なりしは彼れに大見識があつた爲だ吾人も吾人のペンを劍より有力ならしむる爲に大に見識を養ふべしだ▲韓國平和協會内に紛擾が起つて居るソーだ平和協會内の喧嘩は振つて居る▲會社の不正重役を嚴罰する爲に商法中へ新規定を置くソーだが之は當然の事だ、序に無能重役處罰の規定を設けては如何か▲朝鮮問題同志會とやらは宋秉畯を種に何かモクロンで居るソーだが惡い了簡だ、兎角舊式の目論見は時世に合はぬ。



氷水のいろ〳〵

▽氷店主今一工夫せよ

「オイ幾何暑いからとて此方の樣にソウ氷水を呑んでは毒ですよエ不可ませんよ止しなさい」なんど〳〵宅では鹿爪らしいことを仰云つた旦那樣も散歩歸りに軒に南京玉の簾垂がサラサラと鳴る氷屋の閾をれ跨ぎになると見得も何もない立て續けに二三杯を平げてアト人間らしい心持になつたと歸りになる留守はれ留守で冷し西瓜を取卷いた夫人孃さん坊ちやん見るから水晶に紅を含ませたかの如な肉の色外て睨んだ氷の口は拭つての仲間入り妊下物ありビールなくして可ならんやの御説宜ヒヤシビールの泡も消させず溜を引いて又してもアー人間らしい心持になつたと仰云るトロンとなりては元來怪しい衞生家の氷を召せとなるのも此の頃の暑さでは無理ならずだ、記者の如きも聊か夫れに似て居はしまいかとの冷評は御無用に願ふとして氷の名稱の耳新らしいのはミゾレと云ふのである、アラレは知つて居るがミゾレは珍だと一杯注文に及んで見ると小便溜へ脱脂綿を投げ込んだ如な甘露をかけた普通の氷水の少々溶けかけた奴なり、此れがミゾレと云はれても急には成程とも申し上げられず次は月に村雨、卵を落して赤小豆をハラ〳〵と配合ふ卵を月は古い洒落ながら見た處ナカ〳〵に体裁よきのみか精分も殖ゆる衞生氷召し上つて腹が下つても責任は無論小生に御座なく候、扨此の調子で名を命けるざ削いた氷の中程にギウシの赤いのを滲ませて寒牡丹、夫れに甘露をタラプリかけて龍田川、夫れの青き赤きを入れて春の錦又は佐保姫、白玉を入れて(赤青白とも)玉川、赤豆を(形の壞れぬのを)著く混ぜ合はして臥猪の床、此れに玉子を落して月の萩、トキ茶を入れて宇治は古い名だが僕なら此れへ二つ三つ白玉を入れて青柳と云ふ、月を落して朧月夜夫れに赤い白玉を一つ二つ入れてカガリ火なぞも宜からうみぞれなんて詰らぬ名を付けて田舍者を吃驚させずに誰れにでも一寸聞いでも判る樣な名をつける如工夫したら好からふ(むの字)

不埒な飲食店主

▽太平町吉田屋の奸策 ▽嚴重なる處分を望む

料理屋飲食店にして遊興客の懷を見て所持金多しと見れば之れを浪費させんとするは普通一般有り勝ちの事なるが茲に太平町一丁目料理屋吉田屋にては一韓人を口車に乘せ寧ろ殘酷なる浪費を爲さしめたる事件の顛末を記せんに右浪費者は中部沙器店洞水汲夫李永天(三五)なる者にして同業友人中部相思洞崔錫錫より七月二十二日大韓水道會社へ支拂ふ可き各所より集金したる水代百二十圓の支拂方を依頼され其の當時酒幕に於て饗應を受け夫れより獨立門通り酒幕にて飲酒しカルボーを買ひ金七圓余を費消したるより李永天は他人の金子を費消したる以上は七圓も十圓も罪を受けるは同樣なりとさんだ惡心を起し日人淫賣を買はんと同日午後六時頃太平町吉田屋に登樓しイルボン、カルボー、チョンゴシ一夜何程と尋ねたるに李永天の容姿が餘り汚きよりナップン、サラミ、アンデ、カー〳〵と突き倒さんとしたるに李は金はタンダにイッソと十圓紙幣五六枚を見せたるに俄かに叮嚀になり、チンガミさん兩班サラミ、何卒御上がり下さいと李を引き上げ仲居久富みね(三八)を初め酌婦三村はやの(二四)長谷川でん(二二)伏石いち(二二)山田みの(二二)女將吉田うめ都合六人は李を取り捲き善き鳥御參なれと大に喜び李を取り持つ事甚だしきより李は又日本カルボーはこんなよいものかと所持する百有餘圓を出し見せたるにぞ酌婦連は全部捲き上げんと兩班さんぼち、やさいと云ふより李は十圓紙幣一枚宛仲居久富みね外四名の酌婦にやり當夜は酒肴料の外玉代五圓にて三村はやのを敵娼として翌二十三日も流連し晝は二圓二十錢の玉代にて二十三日の夜は前夜はやのが少々取り持ちが惡かりしとて山田みのに乘り換へ二十四日朝迄に所持金全部を捲き上げたるより早く歸へりなさいと追戻したり然るに一方依託したる崔錫錫は水道會社へ拂込なき旨聞き及び大金百二十圓を費消されては一大事と早速中部署に告訴せるより同署に於ては刑事をして李永天の行衞を捜査せしめたるに前記の事情なる事判明せしより所在を捜査の上直ちに逮捕し關係者吉田うめ外五人の仲居酌婦を呼び出し取調べたるに吉田屋に於ける公然の帳簿面は二十二日夜より二十四日朝迄の費消金は四十七圓にしてほちい杯は貰はぬと主張するも李は強いてやれと無理に取つたと云ひ又二十三日の夜は山田みの取扱ひ特に親切なりしより歸りに二圓丈け特にほちをやりましたと申立て居る事とて兎角取調の結果李は横領罪として本日檢事局に送られしは理の當然なるが憎む可きは吉田屋の仲居酌婦連なり斯る輩は營業停止を命ぜられたきものなり

飛行機製作に熱せる青年

▽通信技師の長男

統監府通信技師酒井文次郎氏の長男で東京府下千駄ヶ谷町新田八百十二に住む酒井巖(二三)と云ふは數年來飛行機の研究に熱中して稍々完全した單葉式模型を製作し得たので是非とも實物を製作して飛揚させて見たいと言つて居る同人は番町小學校を卒へて麻布中學を卒業した子供の時分から水車や風車を造つて見て悦んで居たが三つ兒の魂百までゝ中學四年級の時獨逸のツェッペリンの飛行船が成功したと云ふ新聞記事を讀んだ時は思はず肉躍るを禁じ得なかつた中學卒業後は佛蘭西には複葉式飛行機が出來て盛んに飛揚して居ると聞いたので彼は什麽かして單葉式の物を拵へたいと思つたで去る四十一年推進機を備へ付けて一尺大の模型を作つたのを手始めとして毎日の樣に打壞しては造り〳〵製作に耽つたと同時に一方には圖書館に入つて倫敦ニュース等の寫眞及び説明書に據つて複葉飛行機の研究もした、けれども彼の模型には動力を附ける事が出來ぬので推進機を廻轉して見た事はなかつたのだ處が市中の玩具店に賣つて居る玩具の飛行機に護謨の動力を遣つてあるのを見たので自身の飛行機にも護謨を動力にして人間の重さや機械の重量等を計算して比例にて割り出して模型に乘せて飛ばして見たが一向に飛ばぬ夫れから三十個許り寢食を忘れて製作したすると上野公園に内田式飛行機の模型の展覽會があつた行つて飛ばすのを見ると矢張護謨の動力を遣つてある、彼は之を見て大に發奮して更に四個を製作したが漸くにして思ひ通りに飛んだ、で喜び勇つて又た改めて一個を拵へて四個目のに種々の改良を加へて見たが今度は飛揚しなかつた併し模型で飛揚しても實物が果して飛ぶかは疑問である、彼も英國海峽を横斷したブレリオ式の如く實物を製作して試運轉を遣りたいと思つて當地の父に紙面を寄せたが文次郎氏は發明よりも素要が肝要だと言つて拒絶した、彼れは高等工業學校入學の目的であるが此の避暑休暇を利用して戸塚へ引込んで實物の製作に懸る筈である

●靴盜の銃器所藏 本月二日午前二時頃本町二丁目靴屋富田音一方に靴十三足(代百餘圓)旭町二丁目同靴商坂上辰平方にて靴二足竊取せられたる旨屆出に因り其の筋に於て犯人捜査中水門洞警察署(前北部署)刑事も之を聞き込み互に捜査中の所北部安峴洞洋靴商李元根(二五)方の店頭にある事を探知し取調しに贓物なる事及び犯人も判明せしが猶同犯人は銃器三挺及彈藥等を所持し居りしも同人は現場を逃走し行衞不明にて目下所在捜査中なるが尚ほ李元根は贓物故買として目下取調中なれば詳細は後日報導する所ある可し

●桑原商店の盜難 奈良縣北葛城郡岩佐村平民當時住所不定坂口菊松(三三)が昨六日午前九時頃本町一丁目三十三番戸呉服商桑原久藏氏方に忍入り反物二十九反外友仙類三十點(代百六十七圓)を竊取し本町三丁目派出所前にて見張中の巡査に怪まれ取調べを受けしに曖昧なる申立を爲し遂に隱し切れず品物を捨て現場を逃走したるを南山町三丁目翠樓前にて逮捕し目下取調中なり

●廣八賊に襲はる 明治町浪花館に於て興演中の娘義太夫の眞打廣八は北米倉町後藤旅館に止宿中なるが一昨五日の朝居間を留守にせし間に金二十圓入の文函を盜み取られしが氏名入りの帛紗及三絃の絲並に文函丈けは昨六日發見せしに付廣入に假り下渡したる由なるが犯人及現金は不明にて目下捜査中なりと

●こは困つた小僧 仁川本町二丁目居住の平山方雇人平野初五郎(十八)と云ふは一昨日の午後九時頃同町にて

納涼中松坂町一丁目豐田方雇韓人李英淡と衝突し李の頬を力に任せて毆打せしかば警官に嚴しく説諭さる

●電車線路に眠る 西部阿峴居住金景烈は泥醉して三湖井の電車線路に眠り進行し來りし電車にはね飛され頭部に輕傷を負たり

●狂犬に非ざるか 古市町二丁目松元源三郎方の飼犬は龍山老乙洞居住趙錫鉉(三八)に咬付きたるより目下檢診中なりと

●薩摩琵琶演奏會 仁川錦誠會にては來る七日午後七時より水津旅館に於て薩摩琵琶の演奏會を兼ね發會式を擧行する由

日曜集會

●メソヂスト教會 旭町二丁目同教會にては七日午前九時より日曜學校聖書研究あり同十時半木原牧師の禮拜説教「宗教の要素」午後八時より同牧師の傳道説教「悔改と赦罪」あり參聽隨意

●日本基督教會 旭町四丁目同教會にては七日午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜説教「奉仕の生涯」午後八時丹羽清次郎君の傳道説教「何をか宗教的と云ふ乎」參聽隨意

●京城基督教會 日の出町同教會にては八月中は日曜日從來の時間を變更し午前十時なりしを同九時より開き數回に亘りての布伯來詩に現れたる宗教思想を講じ夜は八時より新約書中可羅西書の講義をなす朝の説教は「凱旋の聖歌」にして演者は米澤牧師參聽隨意

目と耳

▲壽座 六日の代り狂言は「長柄長者鶯塚」にして重なる役割左の如し 番頭忠太夫、なぎさ(美高)作内、たまき(尾之吉)いくよ、源吾(淺吉)淀與坊(福司)侍元(花尾)侍女れぶん、大仁曾右衛門(菊枝)佐々木源之助、壽々子ん助(照代)長者の娘梅が枝、侍女、茶長者左衛門(福吉)醫者娶仙、侍、亭(金福)侍元(花子)非人(美代丸)非人(君子)源氏節出語り(美家登司)

●仁川紅筆たより 仁川花柳界は昨今殊の外景氣よく御座候其理由は更らに次便にて申述ぶべく候▲淺岡のいばこは誰が種を宿せしぞ、今し片袖にては隱し得ぬ身重と相成り例の大きな眼を彌が上にも見張りて肩で息する態因果應報詮方なしとれ諦めなさるべく候▲八坂の加代は先日來某病院に入院中なるが其病症は何ぞや固より風船娘の事なれば浪さんの樣な肺病は取附くべくもあらず粹な〳〵三等症なりとは鼻持もなり不申候▲本月の仁川藝妓席順に依れば猩實屋の松山樓福助が第一位を占め居り候が之れには裏面に大に曰くがあるとかにて御座候(烏)

▲平民文庫▼

▲過日本欄記者が思ひ違ひの爲め本年は普通文官試驗がないと報じたのは非常な粗漏であつたと申すことは四日の紙上で謝罪旁々訂正したのは一般讀者の御推讀下さつたことゝ信じて居た▲然るに讀者一般を代表してと名乘つて確實な所を本欄で答へよと申し込まれた方があるから其方に丸答へする▲右は四日の三面欄に普通文官試驗と題して委しく訂正して置きました御一讀を煩はしたい▲更らに此の機會を利用して粗漏なりし段を深謝致します(係)▲昨年澁茶甘茶と云ふ題の中にて刑を刑に代用する事を非難した貴紙が今猶盛に此代用をやつて居る校正が圖館なのか但しは讀者を誤魔化して居るのか新聞社のする事であるから參考の爲めに尋ねする(はの字)▲讀者を誤魔化すのかは毒舌だ校正が圖留だと云ふ譯でもないが甚だしく字義の詮議はして居られぬ場合又は急ぐ場合普通に通用して居るのは其の儘に見逃すことがあるのを承知されたい、夫れから正しいのは無論刑である(小僧)▲一文文庫子へ御伺しますが今度の古城民長始め役員は丸でゼロの奴斗りと見へる税金不納だと直に督促状又は差押へと規則通りに行るが道路の修繕や汚物の掃除は行き屆かぬ現在私の所の前即ち大和町二丁目の出町の中通りの川の有る所の道路は壞れて車は通るに大骨折りです(パラツク生)▲貴君方が何を仰云つても駄目です取り換へない以上は到底ですよ(小僧)▲夫婦すしは先頃の大相撲の中賣りを行つて二千圓斗り拔いた相な羨ましいなア(同業者)▲惡い了見を出しなさんなよ(小僧)▲僕は生鰯が食いたい(下卑作)▲此の頃の本町通りは實に肩摩轂撃の大雜沓だアノ狹い道路だイヤモウ暑苦しい事だらうと商店の伴頭小僧君に同情する(通行人)▲長野の新聞に藥を呑んで死んだ人があると報せられて居るが飯を食つて居てさへ死ぬる人がある世の中だチットモ不思議はないと思ふね(一讀者)▲夫れは詭辯と云ふものだ(係)▲夫れに就いて面白い話がある何んでも十四五年も前の事だらう山口縣で河豚中毒で死ぬるものが多いので賣買禁止法を發布しようと附議した際何某が反對した理由は河豚を食つて死ぬものと米を食つて死ぬものとの死亡率は何方が多いかと云ふにあつたが此の落し咄の如な反對理由で遂々流れになつたと云ふ事だ(小僧)

今日の運勢

八月七日舊七月二日八白友引甲辰納△一白取引賣買品授受纏れ易し新事旅行見合せの事婚姻共惑れあり△二黒吉人のため同體の事に吉△三碧損害失損多き日とす旅行轉任見合すべし新事見合せ△四綠諸事不得要領に了らんとす殊に婚談賣買尤も注意すべし他は平穩の日なり△五黄疾病衞生留意すべし△六白快欣の日大抵吉に雇人及び子孫の事を謀るに妙△七赤前同斷婚談養子談に恰好色情の破れを戒しむ△八白新事旅行及保證引受連盟の事見合すべし遺失防ぐべし△九紫會心の日大抵吉旅行及轉住見合すべし

八月八日舊七月三日七赤先負乙巳納△一白不動産及家督の事談見合すべし其他大抵吉△二黒依頼懇願又は無心に遭ふあり其他靖寧大凡吉△三碧新事及目論見談議の事見合せたるべし色情痴情の破れあり△四綠崩れ易き日婚談共同連盟開店起工見合せの事△五黄貸借保證賣買間違起り易し家族家庭の事煩累あり△六白些少の驚駭あり業務上收利あり△七赤諸事手控へ舌の事誹謗を受くるか又は秘密漏洩等口舌の難あり△八白親疎のため損害厄介無心多き日なり△九紫新事旅行見合せの事子孫飼畜の事注意すべし

●天氣豫報(自六日午後六時至七日午後六時)
南風晴
五日(華氏) 最高溫度 八九、六 最低溫度 七三、八